

狙った方向に木を切る
伐倒作業の流れ



01 木の重心や枝の様子、つるが絡んでいないかなどを確認。木を倒す方向を決めます。



02 倒す方向に角度の付いた切り込みを作ります(受け口)。



03 受け口の逆側を切ります(追い口)。受け口と追い口がつながっている部分をわずかに残すのがポイント。



04 追い口にクサビを打ち込んでいき、受け口の方に木を倒します。

チェーンソーではなくクサビで木を倒すのがプロの技

※わかりやすいように簡略化しています。伐倒は大変危険ですので、専門業者に依頼してください。

林業従事者の誇りを胸に

「財前さんは“きれいな仕事”をしてくれる。おかげで美しい山になった」と依頼主に感謝されることが仕事のやりがいと話すお二人。息の合った間伐作業で、他の木に触れないように伐採し、残す木の価値を守ります。依頼主の先祖が思いを込めて植えた木を一本たりとも無駄にしない——。狙った方向に確実に木を切り倒す技術は、林業事業者のプライドに支えられています。



この素晴らしい山の仕事を、ずっと残したい

市内で林業を営む事業者の思い

森林組合と共に地域の林業を支えているのが、地元林業事業者です。しかし、その数は減少の一途をたどっています。現在も意欲的に事業を続けている方々は、どのような思いで林業に従事しているのでしょうか。

安岐町両子で財前木材を営む財前耕二さん、裕三さん親子に話をお聞きしました。

耕二さん 私の父の代から林業を営んでいます。昔は数多くの同業者がいました



が、今ではほとんどのの方がやめてしまいました。山をきちんと手入れし、森を守っていくためにも、地元で林業に関わる人を増やす必要性を感じています。

裕三さん 小さい頃から、実家の林業を手伝っていました。父と山に行くのは楽しかったです。だから、子どもの頃から、将来は実家の林業を継ぐんだという思いを抱いていました。大分市の林業会社で経験を積み、実家の財前木材に戻って9年目になります。機械操作の講習も受け、大型の林業機械を会社で導入しました。安全で効率的な作業を心掛けています。

ともありましたが、今では息子の指示のもとで動いています。よく林業のことを勉強して、詳しくなった息子が頼もしいですよ。安心して仕事を任せられます。

裕三さん 父の経験から学ぶことは多く、気心知れた親子で仕事ができることは、私の技術向上につながっています。しかし、父も70歳を超えました。会社を継続し、国東の林業を盛り上げるためにも、若い方を雇い、育てたいと考えています。この素晴らしい山の仕事を、ずっと残したいからです。

薪作り機械導入補助

薪づくり機械の購入費用を補助します。

対象者 市内に住所を有する個人、住民団体または市内に事業所、事業施設などを有する事業者

補助要件 市内の木を薪として利用すること。市内の業者から購入すること。チェーンソー講習などの資格を有するか、薪作り教室に参加した者。

補助率 購入費用の2分の1以内（限度額5万円）



薪ストーブ設置補助

10万円以上（住宅以外は5万円以上）の薪ストーブの本体と煙突の購入費用を補助します。

対象者 市内に住所を有する個人、住民団体または市内に事業所、事業施設などを有する事業者

補助要件 市内の木を薪として利用すること。薪ストーブには二重煙突やメガネ石、不燃材炉台、遮熱板を設置すること。チェーンソー講習などの資格を有するか、薪作り教室に参加した者。

補助率 購入費用の2分の1以内（限度額40万円）



国東産材利用促進支援補助

自ら居住または使用する市内の住宅など（車庫、倉庫、離れ家を含む）の新築・増改築・改修に必要な材料として、市内の製材業者が製材した国東産木材を購入する費用を補助します。

対象者 市内に住所を有する個人、自治会、住民団体または市内に事業所、事業施設などを有する事業者

補助要件 市内の製材業者による国東産木材を0.5㎡以上使用。

補助率 購入費用の2分の1以内（限度額30万円）



国東産木材の需要拡大のために補助金をご活用ください

市では、国東産木材の需要を拡大するために、各種の補助制度を設けています。地元の木材を積極的に活用し、ふるさとの豊かな自然を次の世代につなげていきましょう。

※左記補助金は事前申請が必要です。別途要件がありますので、詳細は**林業水産課林業係（☎72-5198）**にお問い合わせください。